

コスト削減、労務環境向上に貢献するエアヒーター Air Top 2000 ST

エンジン停止状態で稼動するベバスト エアヒーターは、アイドリングに比べて約1/10の燃料消費量。
大幅なコスト削減に貢献すると同時にCO₂も削減し、環境負荷も低減します。
また、アイドリングによる騒音を抑制し、ドライバーの休息の質を高めます。



第2回エコプロダクツ大賞 エコプロダクツ部門審査委員長特別賞 受賞

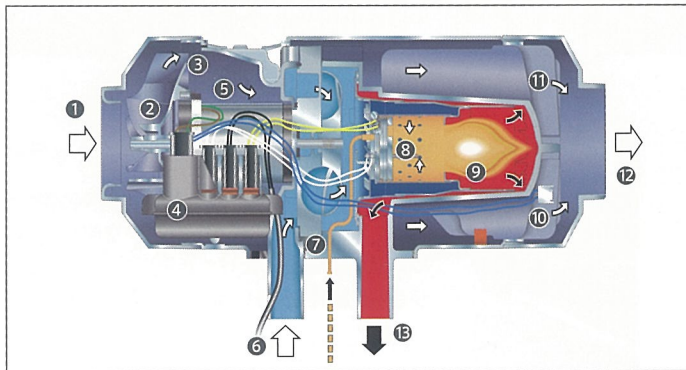
製品特徴

- ひと晩(8h)使用して燃料消費は1ℓ程度
- エンジン停止状態で使用でき、アイドリングによる騒音を抑制
- 設定温度に達すると出力を自動制御する安心・省エネ設計
- バッテリー電圧が低下するとヒーターは自動停止
- 軽量小型の省スペース設計
- 万一の故障の場合は不具合箇所をお知らせ



Air Top 2000 ST

ベバストヒーターの構造



〈燃焼の仕組み〉

燃料ポンプで送られた燃料⑦とファンで吸入した空気⑥との混合ガスにグロープラグ⑧で着火し、燃焼室内⑨で燃やすことにより熱交換器⑪を暖める。完全燃焼した微量の排気ガスは車外に排出⑬

〈温風の仕組み〉

内蔵モーター⑤で空気吸入ファン②を回し、取り入れた車内の空気①を熱交換器⑪で暖めて、車内に温風を送り込む⑫
温度センサー③で吸入空気の温度を感知しながらコントロールユニット④で燃焼をコントロールする

※万一、オーバーヒートした場合はセンサー⑩が働きヒーターを自動的にストップする

スイッチ類 (購入時に選択ください)

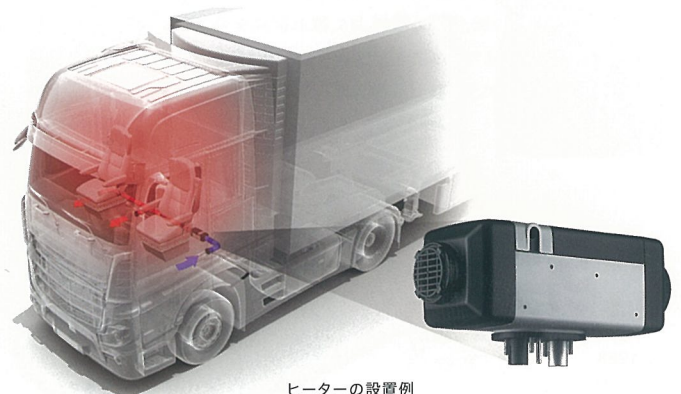
コンビネーションタイマー

ヒーターの始動・停止および室内温度の設定(5℃~35℃)ができます。タイマー機能により、スタート時刻・曜日をメモリーでき、乗車前に車内をお好みの温度に暖めながら霜取りをすることができます。



調整ダイヤル

ヒーターの始動・停止および室内温度の設定(5℃~35℃)ができます。



ヒーターの設置例

製品仕様

	Air Top 2000 ST
使用燃料	軽油
電圧(V)	DC 24V
暖房能力(kw)	0.9~2.0
燃料消費量(ℓ/h)	0.12~0.24
消費電力(W)	14~29
最大温風供給量(m ³ /h)	93
サイズL×W×H(mm)	311×120×121
重量(kg)	2.6